



# はなみずき



学校だより  
磐田市立竜洋西小学校

令和5年5月9日

～えがお かがやく にしのこ～

★右上のQRコードから、竜洋西小学校のホームページを御覧になれます★

## アフターコロナの教育活動

家庭訪問への御協力、誠にありがとうございます。短時間時間ではありますが、家庭と学校をつなぐ大切な訪問となります。また今後、7月に「保護者面談」、毎月「何でも相談日」が実施されます。保護者の皆様とともに、子供たちの成長を支えていきます。

さて、昨日5月8日から、新型コロナウイルス感染症が、2類感染症から5類感染症へ引き下げられました。「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」が変更となりました。今回示された要点をお知らせします。

Q1 **子どもが新型コロナウイルスに感染した場合は、出席停止となりますか？また、兄弟姉妹の登校はどうなりますか？また、発熱、咽頭痛、咳等の症状があり休む場合は、出席停止になりますか？**

A1 はい、出席停止となります。すでにお知らせしたとおり、**発症したあと5日を経過し、かつ、症状が軽快したあと1日を経過するまでを基準**とします。

5月8日以降は、濃厚接触者としての特定は行われないため、**兄弟姉妹、家族等が感染しても、登校は可能で、感染が確認されていないものについては、直ちに出席停止の対象にはなりません。**

**発熱、咽頭痛、咳等の症状があっても、感染が確認されなければ、出席停止ではなく、病欠となります。**

Q2 **学校閉鎖基準は、変更になりましたか？**

A2 変更ありません。これまでと同様、同一の学級において複数の児童の感染が判明した場合、5日間程度（土日祝日含む）を目安に、学校医の指示を仰ぎ、学級閉鎖をすることになります。

Q3 **児童の健康状態の把握は、どのように行いますか？**

A3 家庭でのお子様の健康状態の把握と、発熱、咽頭痛、咳などの症状がある場合は、無理をせず、自宅で休養を取るようお願いします。

**学校では、学級担任が朝の健康観察を丁寧に行うとともに、児童の体調に変化があった場合は、速やかに検温をし、養護教諭と連携し、状況によって早退をさせます。朝、行ってきた「コドモン」による検温確認は行いませんが、今後の感染状況によって、再び実施する場合があります。**

Q4 **アルコール消毒は必要ですか？**

A4 基本的には、流水と石けんで手洗い（30秒程度）を行います。共有物のアルコール消毒も不要です。使用前後に手洗いをするように指導します。

Q5 **マスクの取り扱いについては、どのようになりますか？**

A5 **学校の教育活動においては、マスクの着用を求めないことが基本**となります。ただし、校外学習等で、マスクの着用が推奨される場面では、マスクを着用することが推奨されます。

Q6 **グループ活動を行ってもよいですか？**

A6 新学習指導要領に基づいた対話的な学習が推奨されています。理科の実験、家庭科

の調理実習を含めて、グループ学習を行うことができます。

Q7 **給食のときに会話をしたり、座席を近づけたりしてもよいですか？**

A7 給食のときに黙食は必要ありません。座席の配置の制約は、今後なくしていく予定ですが、**しばらくはこれまでどおり隣の児童と一定の間隔をあけて食事をするようにします。**

※今後、必要に応じてQ&A方式で、感染症対応についてお答えしていきます。



## GIGA スクール構想に係る御質問について

新学期がスタートし、1か月が過ぎました。2020年度から新学習指導要領が実施されました。「令和の日本型学校教育」は、協働的な学びと個別最適な学びの実現を通して、すべての子供の可能性を引き出すことを目指しています。今までの培ってきた学びを継承しながら、より対話を重視した学びへ、さらに、個にあった学びの提供もポイントとなります。その学びを支える一翼となるのが学習用端末です。昨年度まで、教室での使用を中心とした学びが展開されました。学習用端末の扱いにも慣れ、調べ学習や意見交流、自己の学びを映像で振り返るなど、デジタルであるからこそできる学びが展開されています。

今年度からは、学習用端末の持ち帰りも始まりました。E ライブラリーでの基礎基本の定着や課題の追求など、今後、様々な取組が行われる予定です。

また、予定のデジタル配信も始めました。朝の時間をより有効に活用するための取組の一環です。『今まで家で予定帳を子どもと一緒に確認していたのだけれど、予定内容が学習用端末で配信されているとすぐに分からないので、対応をお願いしたい』という御意見をいただきました。お子様のパスワードを保護者の方にもお伝えしますので、学習用端末での確認をよろしくお願いします。

また、『文章を手書きで書いたり、辞書を手にして調べたりすることが大切であるので、学習用端末に頼りすぎるのはどうなのでしょう』という御意見をいただきました。鉛筆や筆などを使って、自分の考えを文章に書いたり、美しい文字を書いたりすることは、とても大切なことです。また、辞書や辞典、本を手に取り、自分が必要とする情報を手にするという活動も、今後も大事にしていきます。アナログとデジタルの良さを発達段階に応じて取捨選択していきます。

最後に、『学習用端末の充電は、家でするのでしょうか』という御質問をいただきました。学習用端末とアダプターを一緒に持ち帰りをしています。学校でも充電はしますが、授業での活用が増え、常に充電ができる状況ではありません。授業中にバッテリー残量が減った場合は、教室内でも充電をします。ただし、満充電ができないこともあります。そのため、家に持ち帰ったときに、使えないといけないためアダプターの持ち帰りをしています。学校での充電が足りず、家で学習用端末を使うような場合に、アダプターを使って学習用端末を使っていたとときがあることに、御理解と御協力をお願いいたします。

## 不審者に会ったときの対応のお願いについて

あつてはなりませんが、不審者に会ったときは、そこから素早く去ること、また、大きな声を出したり、110番の家に駆けこんだりするなどして、自分の身を守りましょう。そのうえで、**第1に、警察に連絡をする。そのあと、学校に連絡をお願いいたします。**